

[第1部]プレ交通社会実験の結果と 1300年祭に向けた改善点

平成22年2月12日

奈良県土木部道路建設課

1. 社会実験目的と実施項目	2
2. 郊外駐車場の利用状況	7
3. パーク＆バスライドの広報効果	8
4. チラシ、ラジオ、ホームページアクセスの状況	9
5. 郊外駐車場への誘導効果	11
6. パーク＆バスライドの利用促進に向けて	12
7. 今回の交通社会実験により把握できたこと	13
(参考) 本社会実験の課題と1300年祭に向けた改善点	14

1. 社会実験目的と実施項目

2

①社会実験の目的

郊外駐車場とシャトルバスによる円滑なパークアンドバスライド(以下、P&BR)の実施を目指し、『**広報の有効性**』、『**案内誘導の有効性**』を検証し、1300年祭本番に向けた改善点を確認する。

●実施日:10月24日(土)、10月25日(日)

②実施項目

(1)P & BRの**広報**

(2)郊外駐車場への**案内・誘導**

(3)P & BRの**運営**

○シャトルバスの運行

○郊外駐車場の運営

○奈良公園前の臨時乗降場の運営

社会実験実施箇所

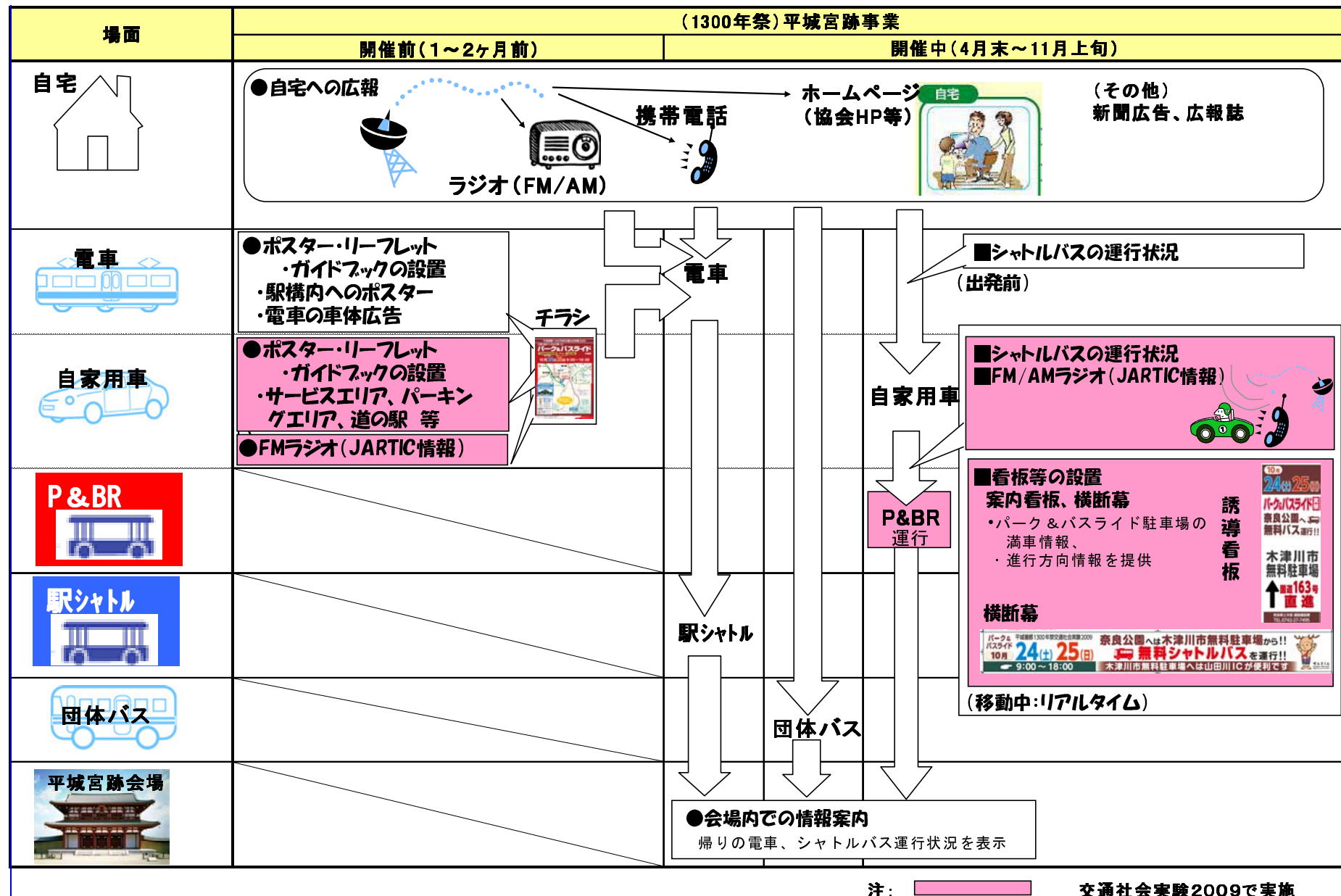


1. 社会実験目的と実施項目

3

③実験の概要

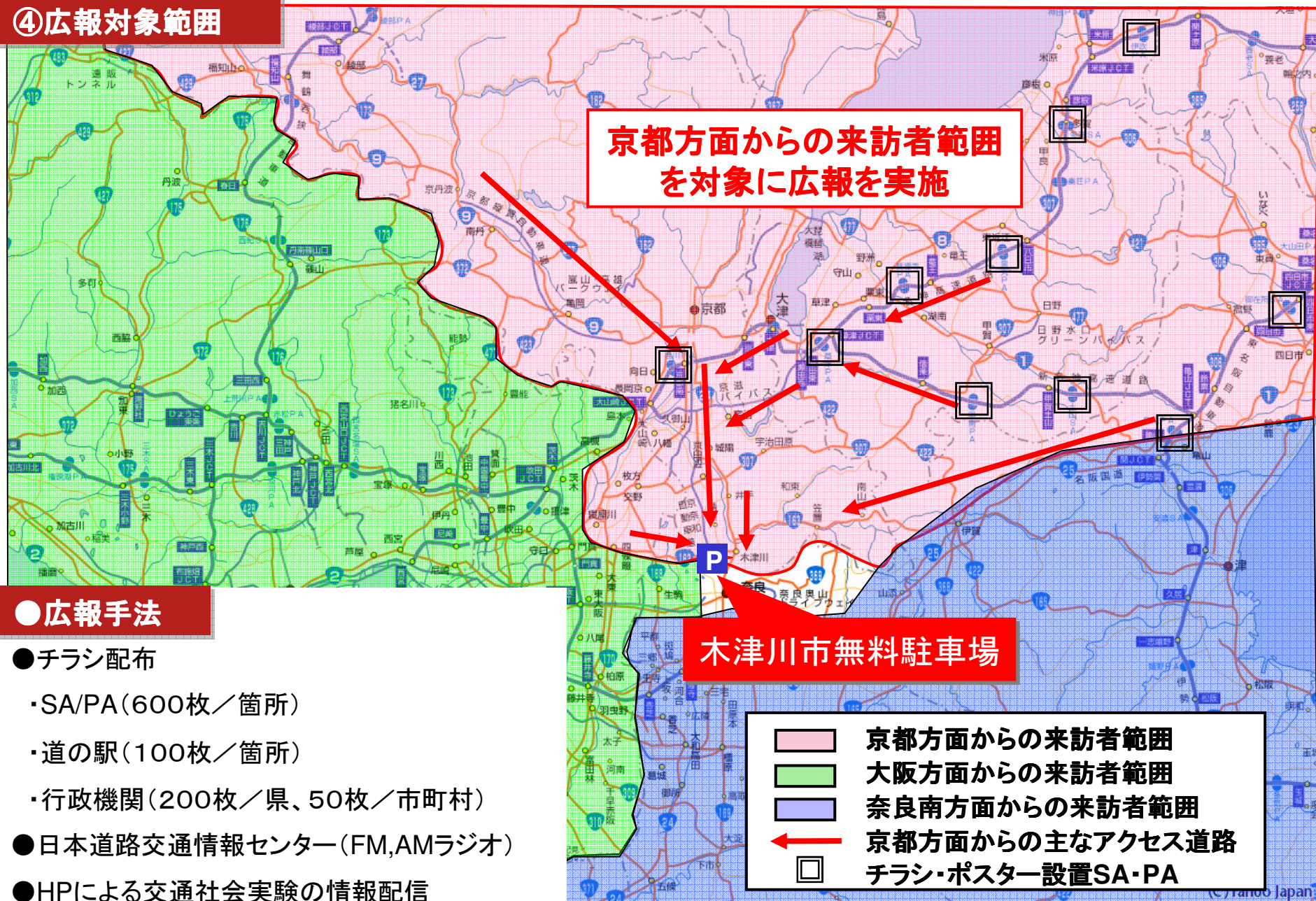
●利用者の視点に立った「1300年祭における交通の広報、案内・誘導」



1. 社会実験目的と実施項目

4

④広報対象範囲



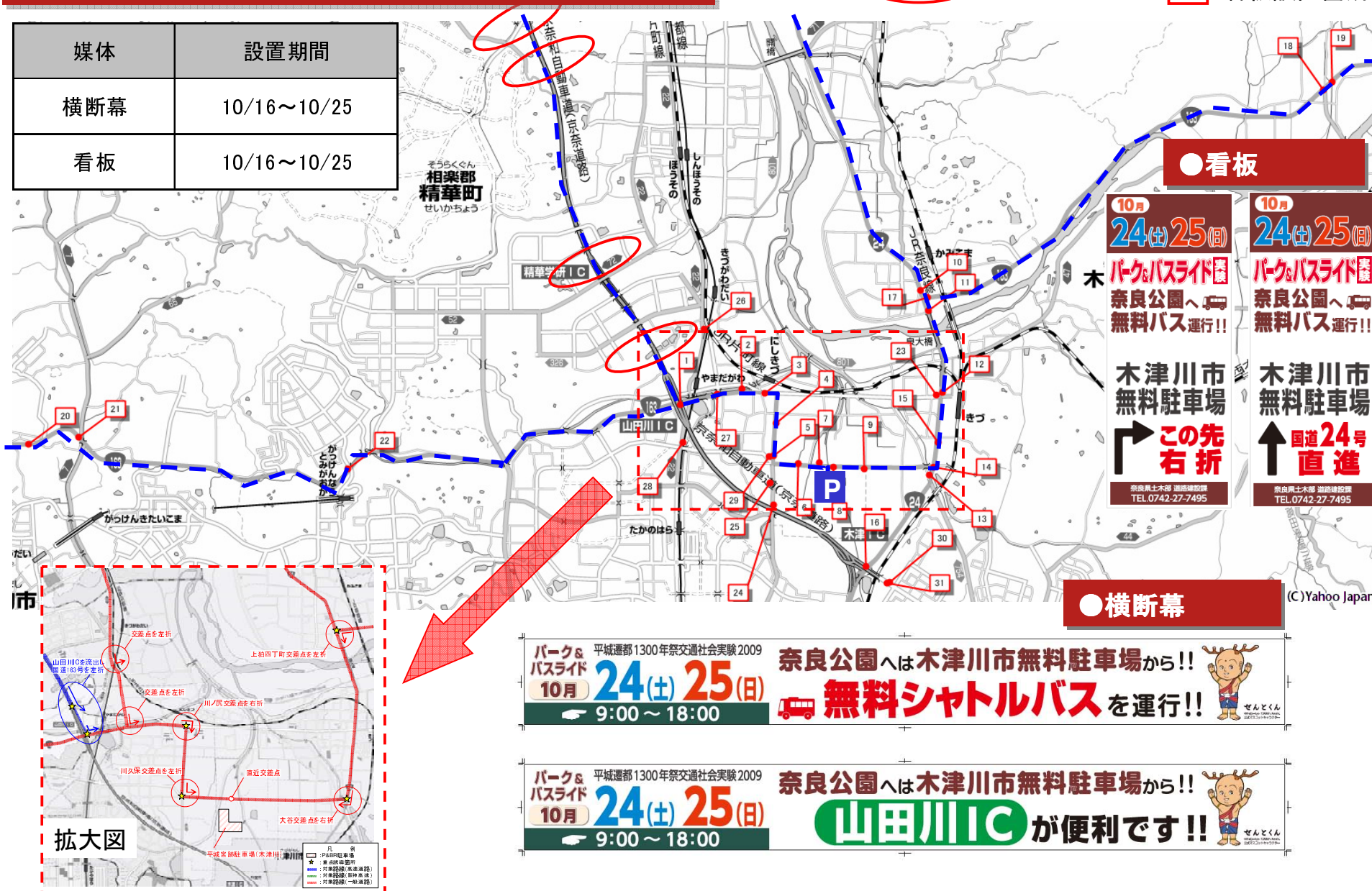
1. 社会実験目的と実施項目

5

⑤横断幕・看板類による郊外駐車場への経路誘導

媒体	設置期間
横断幕	10/16～10/25
看板	10/16～10/25

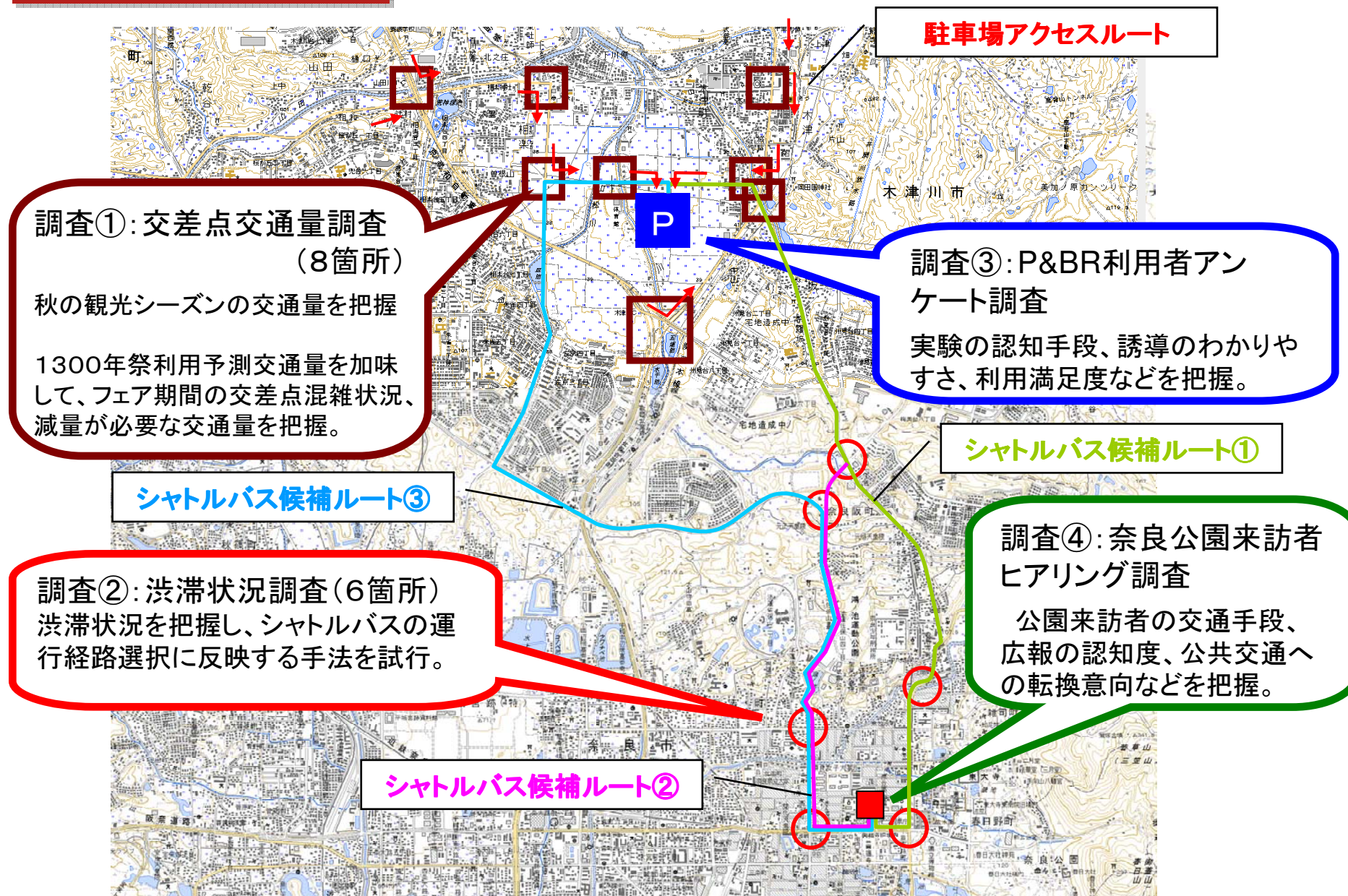
○ 横断幕設置箇所 1 看板設置箇所



1. 社会実験目的と実施項目

6

⑥効果調査別実施内容



2. 郊外駐車場の利用状況

7

- 実験期間中の駐車場利用台数は**348台** (24日:**170台**、25日:**178台**)であった。
- シャトルバスの乗車人数は**860人** (24日:**393人**、25日:**467人**) であった。

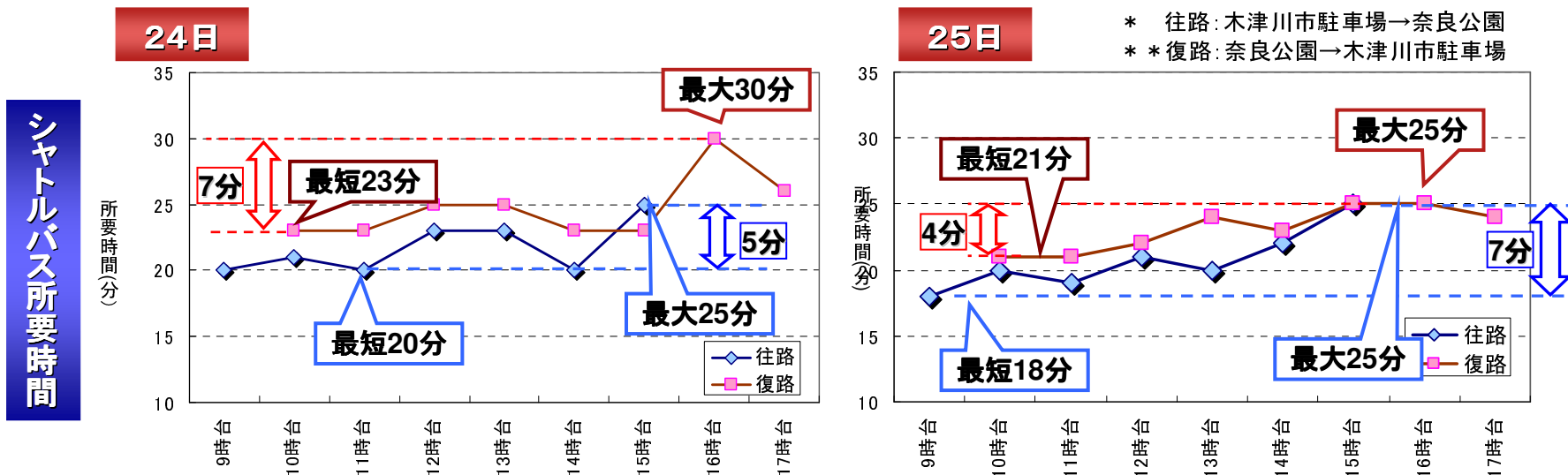


木津川市駐車場の利用状況



シャトルバス乗車状況

- 実験期間中は、例年に比べてルート上の交通混雑が少なく、概ね定時運行が確保された。
- シャトルバスの運行は、24日、25日の両日も10分間隔で運行を確保できた。



3. パーク&バスライドの広報効果

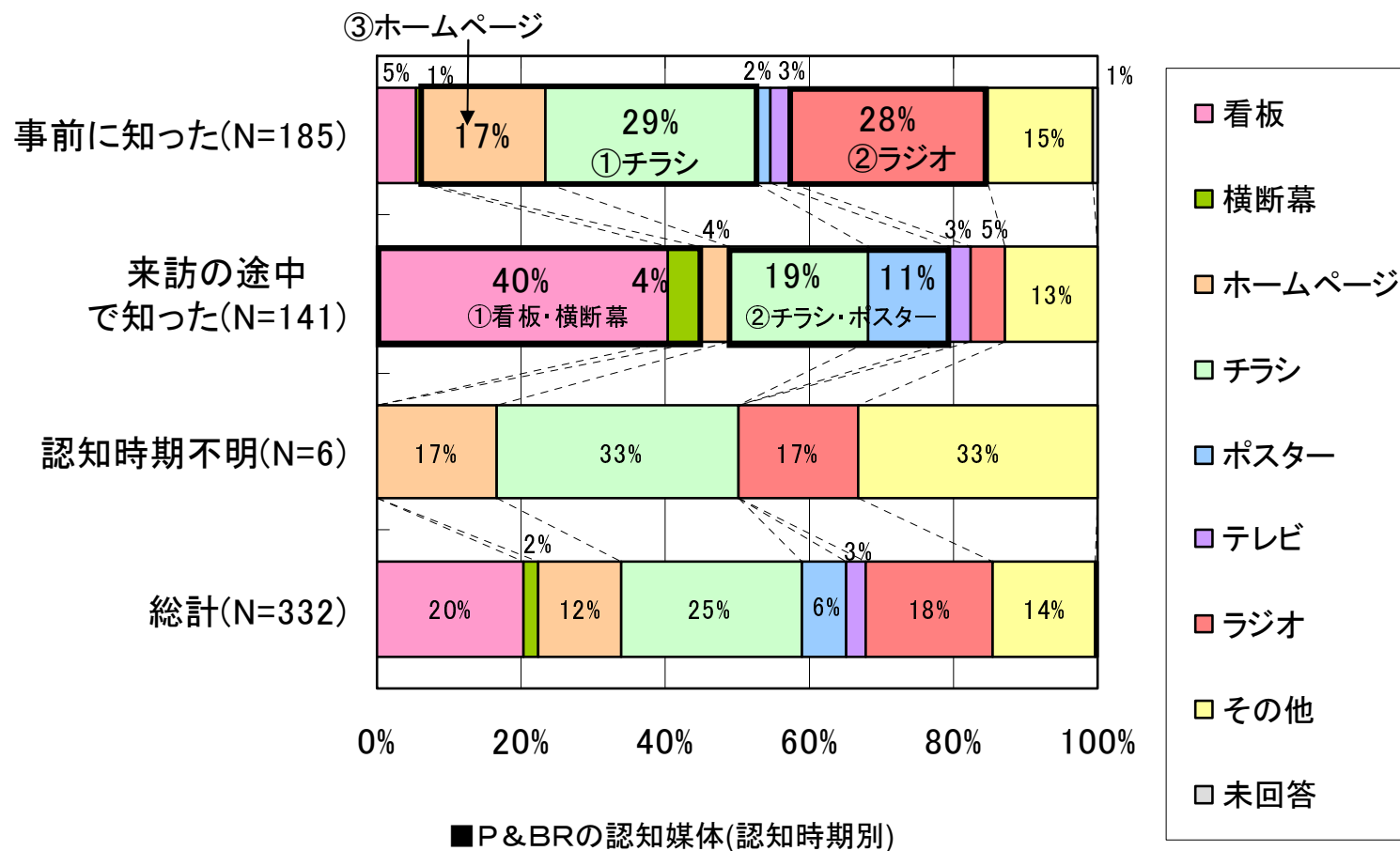
8

どのような情報媒体でP&BRを知ったのか？

- 「事前」に知った人」のうち、チラシ(29%)、ラジオ(28%)、ホームページ(17%)の順に情報を得た人が多かった。
- 「来訪の途中で知った人」のうち、看板・横断幕(44%)、チラシ・ポスター(30%)の順に情報を得た人が多かった。

木津川市駐車場でのP&BRの実施を、「何で」知りましたか？

※アンケート対象：木津川市無料駐車場(P&BR)利用者



4. チラシ、ラジオ、ホームページアクセスの状況

9

(1) チラシの配布

- 高速道路のSA・PAで配布したチラシは、**約70%が捌けていた**。
- 一方、道の駅では、**半数程度残った状態**であった。

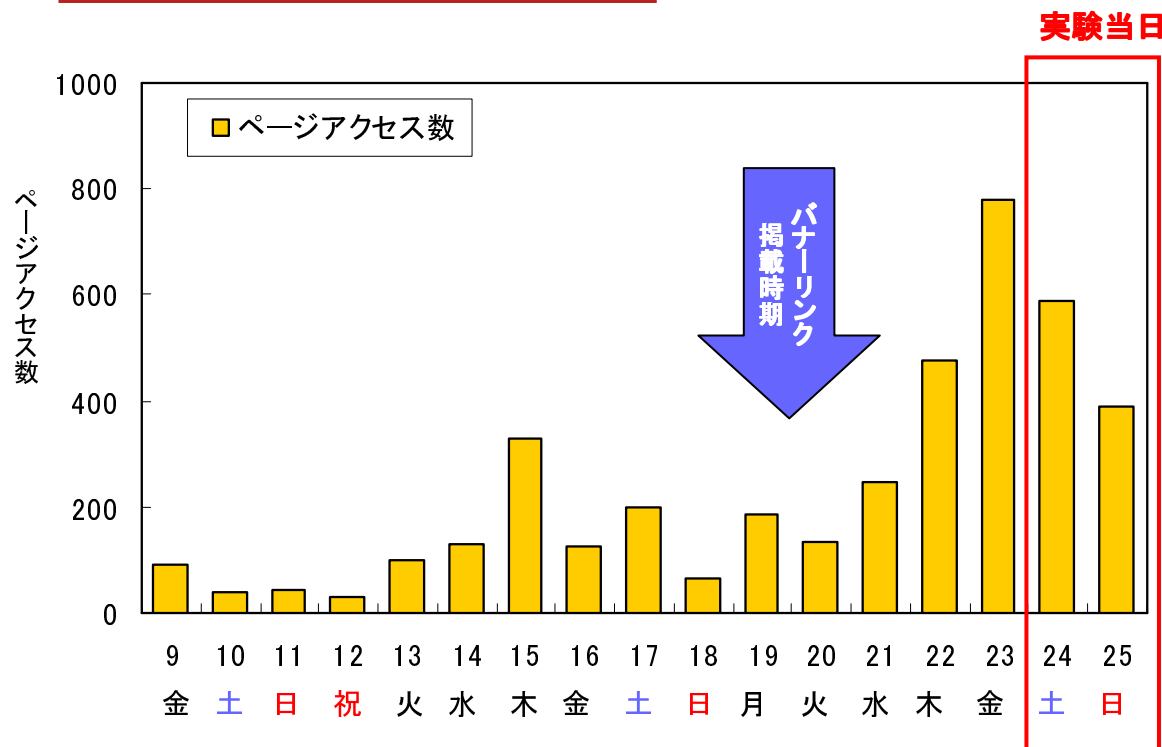
(2) ラジオ

- 警察、日本道路交通情報センターの協力を得て実施した交通情報のラジオ放送の効果が確認できた。

(3) ホームページアクセス

- 1300年協会ホームページ等へのバナーリンク掲載後は、アクセス数が飛躍的に伸びていた。

日別ホームページアクセス数



掲載したリンク用バナー

平城遷都1300年祭
交通社会実験2009
京都方面から奈良公園へは 10月24(土)25(日)
パーク&バスライドが便利 9:00~18:00
木津川市中央体育館 ↔ 奈良公園

平城遷都1300年祭
交通社会実験2009
京都方面から奈良公園へは 10月24(土)25(日)
パーク&バスライドが便利 9:00~18:00
木津川市中央体育館 ↔ 奈良公園

※1「ページアクセス数」

- ・サイトの各ページ(社会実験のサイトは全部で5ページ)にアクセスした回数である。
- ・同じ人が同じ日に複数回アクセスしても、1回のカウントとなる。

4. チラシ、ラジオ、ホームページアクセスの状況

10

チラシ、ポスターの掲示状況

○ サービスエリア、パーキングエリア、道の駅のポスターとチラシの設置状況を確認した結果、目立たない場所や人があまり立ち寄らない場所に設置しているところも見られたため、出来る限り**人目につく場所に設置頂くための協力依頼方法の検討**が課題である。

良い例



ポスター掲示風景(甲南PA(上り))



チラシ掲示風景(湾岸長島PA(下り))

悪い例



ポスター掲示風景(PA)



チラシ掲示風景(道の駅)

5. 郊外駐車場への誘導効果

11

(1) 来訪の途中でP&BRの看板、横断幕を見たか？

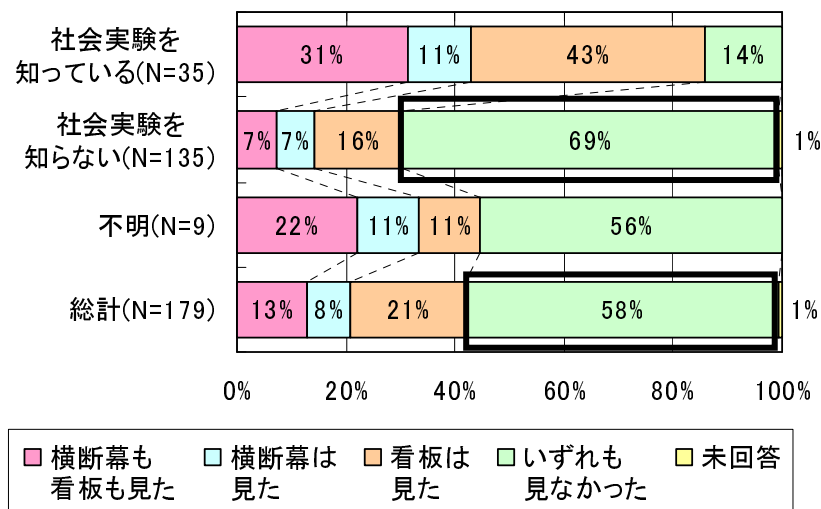
- 京都方面から奈良公園周辺に駐車した人(郊外駐車場を利用しなかった人)を対象に、来訪の途中でP&BRの看板、横断幕を見たか確認したところ、「**いずれも見なかった**」が約**60%**を占めた。
- このうち「**社会実験を知らない人**」については「**いずれも見なかった**」が約**70%**に達した。

(2) 郊外駐車場の到着まで迷うことはあったか？

- 一般道路から郊外駐車場へは90%以上が迷わず来ていた。
- 一方、**京奈道路**からは約30%が迷っていた。

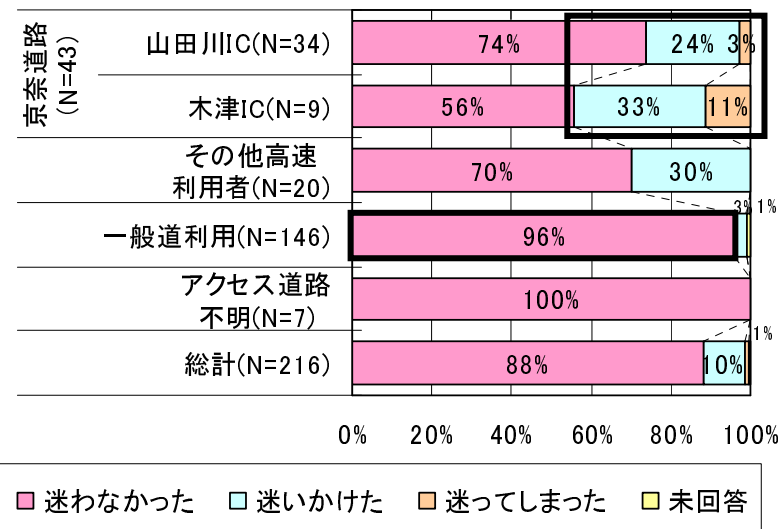
(1) 来訪の途中で、P & BRの看板、横断幕を見ましたか？

※アンケート対象：京都方面から奈良公園周辺駐車を利用した人



(2) 郊外駐車場まで迷うことはありましたか？

※アンケート対象：木津川市駐車場を利用した人のうち、チラシ・ポスターを配布した京都方面からの来場者



6. パーク&バスライドの利用促進に向けて

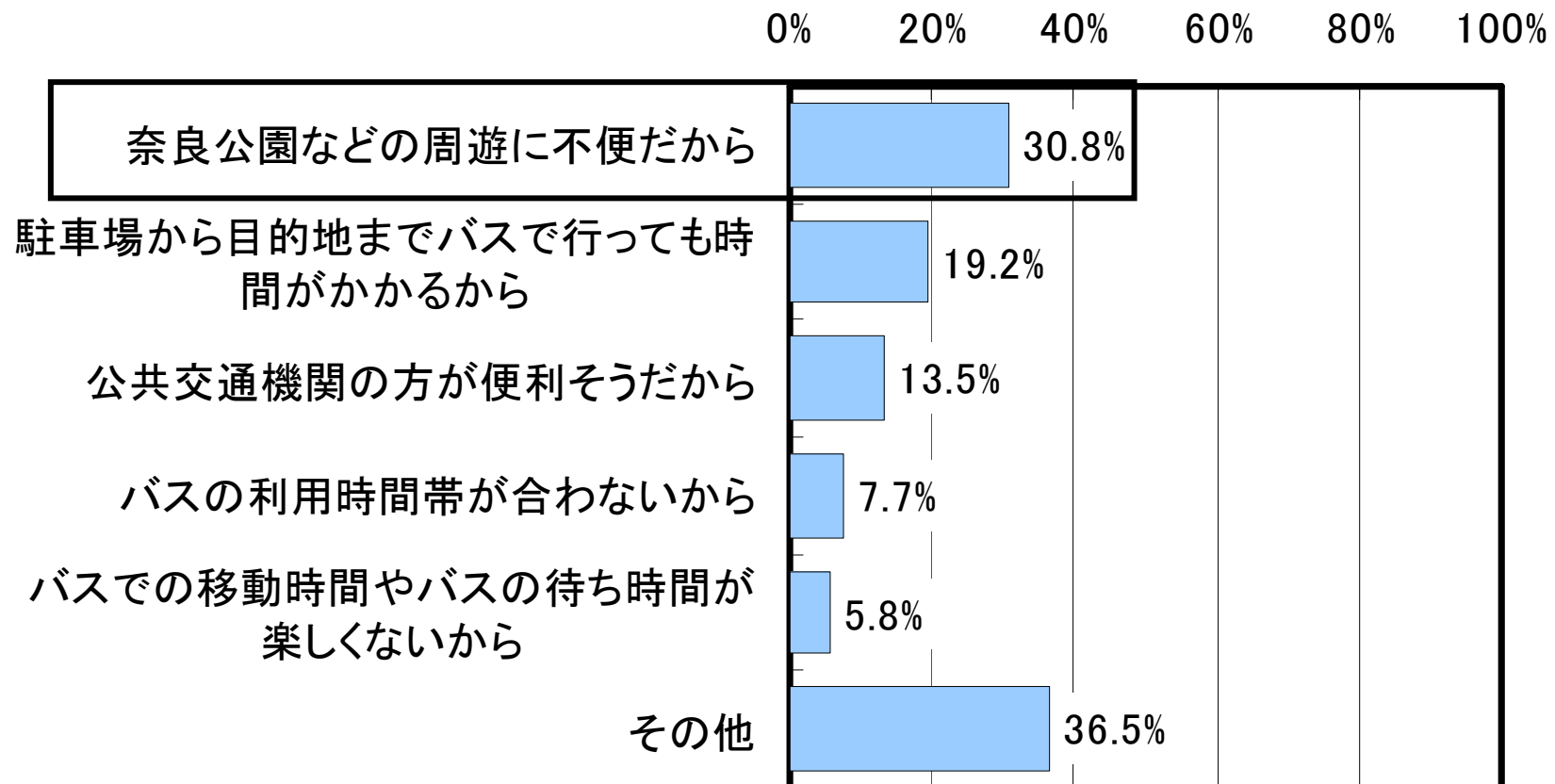
12

1300年祭のフェア期間にP&BRを利用しない理由は？

○「奈良公園などの周遊に不便」が最も多く、1300年祭本番での会場から奈良公園への移動手段の確保など周遊に対する利便性確保が、公共交通及びP&BR利用の促進に向けた課題といえる。

1300年祭フェア期間中にP&BRを利用しない理由は？

※アンケート対象：京都方面から奈良公園周辺に駐車した人
(P&BRを利用すると答えた人を除く)



N=52

■ 1300年祭フェア期間中にP&BRを利用しない理由

○広範囲に情報伝達が可能なラジオは、事前の交通情報の提供に有効。

→情報の発信方法や受信しやすい環境づくりを検討。

○高速道路のサービスエリアなどの広域観光の休憩地点は、チラシの配布場所として有効。

→手元に届く工夫について、さらに検討。

○特に遠方からの来訪者が利用する京奈道路については、横断幕等の視認性にバラツキ有り。

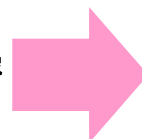
→横断幕・案内看板の効果的配置やデザインの視認性向上などの改善が課題。

(参 考 資 料)

本社会実験の課題と1300年祭に向けた改善点

①チラシ・ポスター

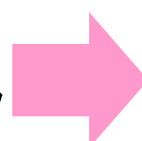
- チラシを設置するだけでなく、手元に行き渡るための工夫が必要。
- チラシ・ポスターの内容が、P&BRの周知・利用促進に特化した内容となっていたため、公共交通への転換が促進されなかった。



- 配布エリアの拡大と配布先の再検討(コンビニなど)
- 公共交通利用促進に向けたチラシ・ポスターの作成

②ホームページ

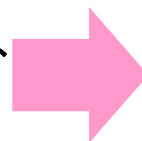
- 1300年協会等での有力サイトのバナーリンク掲載により、アクセス数が飛躍的に上昇した。
- ホームページへのアクセスによる社会実験の周知を広げるため、アクセス数の多いサイトへリンクを貼る必要がある。



- リンク候補となるアクセス数の多いサイトの検討
- 事前周知に向けたHPの早期立ち上げ

③ラジオ(JARTIC)

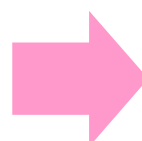
- ラジオで認知した人の割合が「チラシ」、「看板」に次いで3番目に高く、一定の広報効果が確認出来た。
- しかし一方で、奈良公園周辺に駐車された方のラジオの認知度は低く、更にラジオを聞いてもらう工夫が必要。



- 放送時間・放送局の更なる周知(チラシや看板等との連携)

④看板

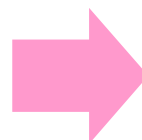
- 迷いかけたお客様が12.3%おり、看板のデザインに問題が無かったかを精査する必要がある。
- また、「看板の数を増やす」との意見も多かった。
- 日々の看板点検に時間を要した。



- 重要分岐交差点での重点的な看板の設置
- 2～3枚でワンセットとするような情報量の制限
- 手持ち看板の投入
- 看板点検方法の検討

⑤横断幕

- 横断幕は設置箇所によって視認性にばらつきがあった(横断幕の高度が高い箇所は見にくい)。
- メッシュ地としたため、白バックでは文字が見づらくなった。
- 横断幕の情報量が多く、文字が小さくなった。



- 設置箇所の見直し
- 連続した横断幕の設置
- 横断幕デザインの見直し

①駐車場の入出庫

○ 木津川市無料駐車場の出入口が1箇所のみで、出入口手前の道路が1車線のため交差通行となり、バスの出入り、P&BR利用者の出入り、一般車の通過が混在し、各車両の誘導面では困難を要した。

誘導に関するマニュアル化

②駐車場の空き室管理

○ P&BR利用者がシャトルバス乗り場へアクセスし易くなるよう、乗り場への通路に近い車室から順次誘導し、大きな混乱は発生しなかったが、駐車場が満車になるくらいの時に、警備員が一番端に誘導していると、通路に近い車室に空きが生じていた。

出庫状況を警備員に知らせる
空き室管理の実施

③歩行者の誘導

○ P&BR利用者がシャトルバス乗り場へアクセスし易くなるよう通路を確保し、誘導には大きな問題はなかったが、路面が凸凹のため、お年寄りやベビーカーが通行しづらいとの意見があった。

○ 夕方、照明が足りずに足下が暗い状況になった。

歩行者経路を示す標示の充実

夜間照明設備の整備

④シャトルバスのルート変更

○ 復路に時間がかかったが、当初、復路に代替ルートを準備していなかったため、その場での協議での対応となった。

シャトルバス運行ルールのマ
ニュアル化

⑤本部における苦情トラブル対応

○ 大きな渋滞が発生しなかったことも幸いし、P&BRの運営上の苦情トラブルは発生しなかったが、奈良市内で実施されているイベントについての問い合わせが多くあり、観光案内が出来るよう、当日のイベント情報等について把握しておく必要があった。

スタッフ・ボランティアへの奈良
観光情報や交通情報の教育